



■内容の濃さにおどろき

東京・北区 宮本良治

90号ありがとうございます。内容の濃さに驚きました。会の発展を切に願っております。私も入会します。

■90号しっかり読みました

取手市 松浦和子

意見広告に名前を連ねました。これだけは絶対ゆずれないからです。ニュース90号、読み応えがありました。しっかり読みました。

■講演記録、ありがたかった

相模原市 金子ゆふ子

4・10の集会、インフルエンザでねこみ、行けなかったので、お話しの上紙上再現、とてもありがたかったです。

■90号は得をした気分

仙台市 野崎光夫

90号の特集はとても良かった。得をした気分です。

■90号、充実した内容

熊本市 田中之浩

『ニュース』90号、充実した内容で、学ぶこと、考えさせられることがいっぱいでした。ありがとうございます。

■90号、ありがとうございます

千葉県 黒石佐絵

(前略) 90号読みました。鶴見俊輔、澤地久枝さんの15年戦争の経緯、中味、非常によくわかりました。(ソ連参戦、大岡昇平氏の『レテ戦記』の教えるもの等)。小田実さんの昭和天皇降伏についても非常に明瞭で、目からウロコでした。このように、真実のことが、なかなか我々大衆には届いてこないのが現状です。(その努力をしてこなかったのもまづいでしょうが)。詩「ヒロシマというとき」も感動しました。詩は、多く読んで来たつもりですが、この詩人は知らなかった。いろいろとお世話頂き、ありがとうございます。

■鶴見さんに同感。私も刑務所志願

名古屋市 飯塚正人

90号の鶴見さんの意見に同感です。その時期が来たときは私も及ばずながら刑務所行きを志願したいです。最近ではニュースが非常に充実してきました。ご努力に感謝します。

■小田さんのお話に教えられました

豊中市 萩ルイ子

90号の小田実氏のお話(天皇の降伏決断発言の大嘘)に多くのことを教えられました。昭和天皇はいわゆる『木戸日記』によれば、一九四五年二月一四日、近衛文麿が敗戦必至なので「ヤルタ会談の議定書を受諾したらどうですか」と上奏したのに、「もう一度戦果を挙げてから」とヌケヌケと答えたのです。前

年の七月にサイパンは陥落しており、フィリピン島沖海戦ほぼ全滅、レイテ戦では約八万の兵士が死にました。中公文庫『日本の歴史』25によると四五年一月の時点で、硫黄島でも日本軍が全滅することは分かっていました。

■今回は天眼鏡でも見えない字で

南国市 森岡侑子

「九条実現」の大文字には本当に感動しました。次回にはいくら天眼鏡をかざしても見えないくらい大きなうねりにして母国日本の未来のために、そして世界の平和のためにも「九条」を護り抜き、そして実現しなければなりません。

■意見広告に感動

知多市 坂野一三

九条実現、すばらしい意見広告に感動です。それぞれの事務局のみなさん、お手伝いのみなさん、お疲れ様でした。

■もったいなくて冷蔵庫の扉に

藤沢市 安岡千絵里

膨大な量の発送作業、さぞかし大変だったと思います。お手伝いできなくてすみません。ありがとうございます。おかげさまで、5月3日当日には(旅行中で)見なかったのですが、しみじみ、意見広告を観察(?)することができました。何だかもったいなくて冷蔵庫の扉にはつてあります。ニュース90号も(私にしては珍しく)じっくり読ませていただきました。

■意見広告、洗練されて静かな迫力

横浜市 木下久美子

「九条実現」の意見広告、洗練されて静かな迫力があって、とてもすばらしいものに仕上がっていたと、感動しました。「報告書」「ニュース」も読ませていただき、掲載実現までのご苦労、ご尽力に感謝するばかりです。ありがとうございました。

■ヨコハマ大空襲を忘れない

横浜市 北村哲夫

ヨコハマ大空襲で運良く生きのびる。歯がカチカチ鳴る恐怖は、今なお脳裏に。5月29日、永遠に忘れない。

■父と姉は空襲で逃げまどった

東京・杉並区 岸野須美子

『ニュース』90号、感動して拝見しました。45年2月末、私は長野に疎開しましたが、父と姉が浅草、隅田川と逃げまどいましたようです。

■小泉首相には全くうんざり

東京・豊島区 磯谷佳世子

「星条旗 仰ぎ近所へ 蹴り入れる」小泉首相には全くうんざりです。イラクの子どもたちの今日の無事を祈ります。

■世論を憂える

京都市 加藤敦美

世論は、日本は悪くない、中国や南北朝鮮の側に問題があるのだ、という加害責任隠し、つまり天皇制免罪・自己改革回避へ躍起にな

っています。問題はますます拡大し、力関係逆しているのに。

■あきらめずに頑張りましょう

東京・杉並区 岡田弥生

小泉さんの靖国発言など絶望的な気持ちになりますが、「あきらめてはいけない」という勇気を頂き、嬉しく思います。貧者の一灯ですが、今後ともあきらめずに頑張りましょう。

■正念場のこの10年

小金井市 諸橋泰樹

9条、24条を変えてはなりません。ぼくにとっても、年齢的、ライフサイクル的に「危機の10年」に当たりますが、社会もこの10年が正念場にあるようです。

■やらねばならぬ大事な時

栃木市 田上 中

様々のこと、やれること、言うべきこと、行動すべきこと、いまやらねばならぬ大事な時です。ともに頑張りましょう。

■19の国で憲法九条を届けました

新座市 太田博子

2月2日から5月17日まで第48回ピースボートに乗船していました。寄港地ごとに(19カ所)その国の言葉で書いた日本国憲法第9条と折鶴を相手国の交流団体に有志が届けました。当方不在だったにもかかわらず名前を(意見広告に)載せてくださって感謝。

■障害者は憲法あればこそ

西東京市 大森尊子

障害者には、憲法があればこそ人生を持てますが、改悪されれば障害者は人生を持てなくなると思います。平和は全ての人々が持つ権利であると。

■実現せねばならぬ九条

飯能市 中島マリ子

九条を変えるのではなく、九条を実現せねばならぬ。その方法は、日本から、世界中に呼びかけること。誠心誠意。

■死去した連れ合いへの香典をこの会に

西東京市 吉川勇一

47年連れ添った妻祐子が6月7日に死去しました。54年、中国紅十次会の李徳全女史の歓迎運動、56年の砂川基地拡張反対闘争以来、反戦平和の行動をともにしてきた仲間でした。最後の活動は、今年5月3日の「九条実現」の意見広告に名を連ねることでした。多くの知人からお悔やみの言葉や香典をいただきました。葬儀の際、いただいたご香典は憲法九条改変反対の運動に役立てさせていただきます。彼女が92年1月に入会以来死ぬまで会員だったこの会にカンパさせていただきます。

■安川寿之輔『福沢諭吉と丸山眞男』についてなど

札幌市 杉山和子

意見広告記事とニュース90号をお送りく

ございましたありがとうございます。さっそくよませていただきました。

鶴見氏の文、読んで氏に対する考え方が変わりました。今まで何か頼りない方だと思っていました。いい方なんです。ベ平連の運動について一度も関わったことないので、尊敬の念を持ちました。

澤地さん、小田実さんの講演は札幌で聴いたことがあり尊敬しています。

「イラク・ブーメラン意見広告プロジェクト」報告も感動して読みました。日本憲法第九条全文をアラビア語で掲載してくださった由、大変な努力をしてくださったんですね。

すごく嬉しく思いました。赤字もかなり出たとのこと。私自身も、十七年も朝三時に起きて北海道新聞朝刊配達をやっていた時は、少しお小遣いが得られて良かったのですが、三年前に昼間、乗っていた自転車の後をトラックに押されて転倒し、左鎖骨複雑骨折、二週間入院した後は止めてしまつて収入ゼロになり、わずかばかりの年金だけが自由になる身で決して余裕はありませんが……。せめて会員になって……と思えますので三〇〇〇円同封いたします。私はもうすぐ七〇歳になりますので、二〇〇〇円でもいいようなので、ほんの少しで申し訳ありませんが、一〇〇〇円はカンパとしてください。

私は、縁あって第九条の会オーバー北海道の会員になって四、五年になります。アメリカが湾岸戦争を始めた時、九条の会を作った

オハイオ州の工学博士オーバー博士にならつて、名古屋に日本九条の会が最初に来た後、今は日本各地に九条の会があるのです。

オーバー北海道も全道に会員が居り、五月と十月に大きな（私たちとしては）集会があり、札幌は月二回例会と学集会を小さいながらやっています。若い学生から私のような老人まで幅広い人達の集まりで、言いたいことを出し合つて人の意見に耳を傾ける大変勉強になる集まりで、夜出かけるのがだんだん大変になつてますが楽しみにしています。

そんな中で、憲法はむろん、教育基本法、教科書、在日の人たちのこと、学ばなければならぬことばかり。それで意見広告の件についても知らされ、送金した次第です。で、思いがけず通信を送っていただき、またまた勉強させていただき感謝です。

今私が驚きながら読んでいる本を紹介させていただきます。安川寿之輔著『福沢諭吉と丸山眞男』Ⅱ「丸山諭吉」神話を解体する（高文研）です。

「天は人の上に人をつくらず人の下に人をつくらず」という言葉だけで『学問のすすめ』を読んだつもりで過ごしてましたが、これが大きな間違いだったようで、今、文庫本があるそうなので、自分で『学問のすすめ』を読んでみようかと注文しています。

右の本は実に分厚く大変な論文なんです、すごく興味深くなぜ教養のある指揮者、東大はじめ各大学学生が、やすやすと学徒出陣さ

せられたのか、日本の教育体制の恐ろしさがやつと理解出来かけています。今半分位まで読みすすめたところです。若し許されるなら、どうかこの本を皆さんが目を通して下されたらいいなあと思います。

今、一万円札に印刷されている諭吉さんには早く引退願いたいと思います。アジアの人たちに申し訳ないようですもの。怒っている人々も多いそうですから……。

いったい、学校で私たちは何を習つて来たのでしょうか。本当に！

いつだったか読んだことを思い出しています。公教育は、国にとって都合悪いことは教えないのだ、と。

これは世界中どこでもそうなのだといいことです。悲しいことですね。

長々と乱筆乱文書きましたが、お忙しいのに申し訳ありません。よろしくお願いいたします。

（33ページより続く）

学者の方が執筆しています。

最後に本書の1/3くらいの分量の大変充実した資料が収集されています。この事件の理解に欠かせない配布された「ピラ」、自衛隊官舎などの地図や周辺図、マスメディアの報道記事一覧、団体個人の声明文一覧、弾圧事件の経過がわかる日録、判決文全文、被告3人の最終意見陳述が掲載されています。

（立川・反戦ピラ弾圧救援会 代表 大沢豊）